

令和3年度公的研究費に関する管理・監査状況報告書

1. 科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金

(1) 監査実施時期

- ・ 書類監査：令和3年4月9日～令和3年4月14日
- ・ 実地監査：令和3年6月14日～6月25日

(2) 監査実施概要

・ 書類監査

個々の課題毎にファイルされている書類等を調査し、必要な証憑書類等に基づき厳正に審査されるとともに、それらの書類が適切に保管されているかを検した。

・ 実地監査

令和2年度研究代表者として科研費の交付を受けた研究課題53件の10%以上にあたる7件（科学研究費補助金2件、学術研究助成基金助成金5件）について、関係法令及び内部規程に基づき適切に運営されているかを検するため、実地に聞き取りを行った。

(3) 監査実施結果

購入物品の使用状況を確認する外、事前に関係書類を調査した上で疑問点を中心に実地に聞き取りを行った。また、短期雇用者等があった3件（4名）について勤務実態について聞き取りを行った。

監査の結果、預け金、目的外使用等の不正使用の兆候は認められなかった。

実験用薬品の管理及び同保管庫の鍵管理に不徹底事項が1件認められ、指導し改善させた。

また、購入物品使用状況の確認において、学外持出し手続きを行っていないものが1件認められ、後日現物確認するとともに、学外持出し手続きについて指導した。

2. 全教員への研究コンプライアンスに関わる注意喚起

教授会（拡大）にて次の事項について紹介・実施する際、学長・研究担当副学長より研究コンプライアンスに関する注意喚起等を継続して行った。

- (1) 4月9日 3月4日に実施した「研究コンプライアンス推進委員会」の報告
- (2) 5月14日 ヒト倫理審査委員会体制について周知
- (3) 6月11日 研究コンプライアンス関連 e-ラーニング受講の要請
- (4) 9月10日 ガイドライン改正に伴い8月26日臨時に実施した「研究コンプライアンス推進委員会」の報告
- (5) 10月15日 研究コンプライアンス ワンポイント解説
- (6) 1月21日・3月2日 ヒト倫理審査委員会体制について周知

なお、2月16日に実施した「研究コンプライアンス推進委員会」の報告は、今年度同様新着任の教職員にも併せて周知することから、今年度の実績に計上していない。